

N70115

## 動作確認チェックシート

検査日	2023年 8月 1日	(機械の仕様・規格を記入する。)			
商品名	2次元膜厚分布測定装置	電源電圧	単相100V,4系統	測定範囲	600×600mm (推定)
型式	FiDiCa (フィディカ)	周波数	50/60Hz	スキャン	1軸
メーカー名	JFEテクノロジー(株)	大きさ(W×D×H)	1580×990×1325mm		
機械Ser.No	不明	測定対象	ガラス基板上膜 液膜等		
製造年月	2016年3月	測定膜厚	100nm～150μm		

チェック項目	主な確認内容	チェック(○×)
1 外観	筐体・キャスター・継手・スイッチ等に著しいキズ・破損・動作不良はないか。	○
2 起動動作	POWER ON時に異常(異音・異臭・漏電・暴走・アラーム表示等)はないか。	○
3 SW設定	SWの機能は正常か。	○
4 保管・出荷準備	水抜き・ビス締め・清掃・入庫元に関するシール等を取り除く。	○
5 確認シール	動作確認済シールを貼る	○

備考(動作確認内容・不具合内容等) 機器の仕様・規格を満たす事を確認する。

- ステージ及びソフトがガラス基板上の膜を測定する仕様となっている。(基材層の定義がガラス基板のみ)
- (1)パターン付ガラス基板(530×420mm, 0.75t 膜厚は不明)を用いて測定実施。動作に問題なし。  
(2)計算条件を入力し、再計算で膜厚を確認。平均で317.6nmとなった。標準サンプルがないため、膜厚及び分布精度は不問とした。
- (1)Siウエハ上の膜測定は光学定数ファイル(屈折率、消衰係数)を新たに作成する必要あり。但し作成方法不明。  
(2)参考に酸化膜付きサンプルウエハの測定を実施、ガラス基板上の条件で膜厚計算した。(値の精度はなし)



取扱説明書(有)



## 修理・改造履歴

年月日	修理・改造記録	作業者
2023年8月1日	マウスなし、中古品補填。	野沢

File Maker入力

(備考欄コメント)

[責任者]

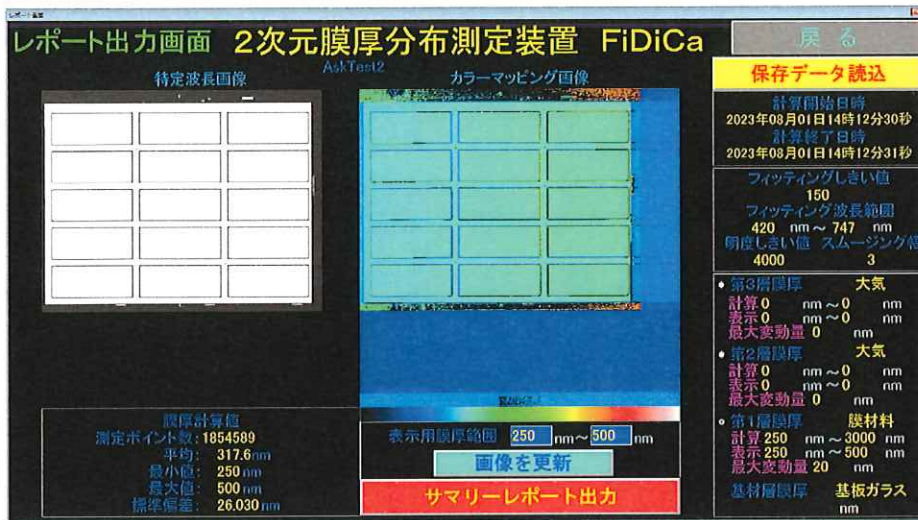
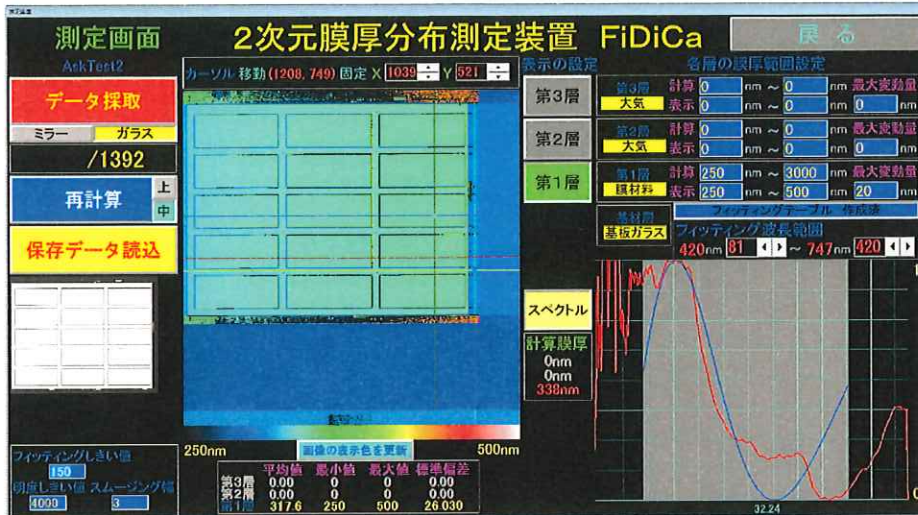
動作(OK) 作業工数[ 7.5H]  
検査担当者[ 野沢 ]

容量大の影響か、時々アプリがフリーズしてしまう時あり。





パターン付ガラス基板測定



酸化膜付きサンプルウエハ測定

ガラス基板の光学定数ファイルを基にしているため膜厚値の精度は低い。

単位: nm

No.	公称膜厚	測定値
4	124.9	10000
5	431.9	449
6	1081.1	1108

